



第4号 1997年7月2日 発行

発行
山梨県立甲府中学校
山梨県立甲府第一高等学校 東京同窓会
発行責任者 伴野 匡 (昭19年卒)
編集責任者 内藤 勲 (昭34年卒)

「日新鐘」の由来

この鐘は、昭和三年甲府中学が舞鶴城内から現在地に移転したとき新築の本館校舎の屋上に設置され、時の江口俊博校長により「日新の鐘」と命名された。中国の古典「大学」の「苟日新日新又日新」を踏まえ、古い伝統のなかであってそれを忘れず、しかも日々新たな向上と発展を求めようとの意図によるものであった。以来六十有年「日新鐘」の愛称をもって甲府中学、甲府第一高等学校生徒に親しまれ愛されてきた。平成四年改築工事に伴い旧校舎は解体されたが、日新鐘は新たな出発への思いをこめ、新築された学園の中庭アトリウムの一角に据えられ受け継がれることになった。

甲府中学・甲府一高
東京同窓会
開催

平成9年度

7月2日 水

於：東京会館

夢見つづけて...
600余名の同窓生集う

同窓会に感謝して



山梨県立甲府中学校・甲府第一高等学校、平成九年度東京同窓会が盛大に開かれますことを心からお慶び申し上げます。加えて、卒業生の皆様の日頃の母校発展のためのお力添えに心から感謝申し上げます。私は、伝統ある甲府第一高等学校の校長を関口稔夫先生から引き継いで三か月に成りますが、日々百十七年の歴史の偉大さ、伝統の重さを感じております。

内には設置され、専門教育学科も増設、普通科のコース制もスタートいたしました。こうした情勢のもと、四月八日に三百二十一名の新入生を迎え、全校生徒九百六十一名で平成九年度出発いたしました。伝統の「強行遠足」も十月一日〜三日を予定し、すでに準備を始めたところです。今年七十一回目を迎えるこの行事が、卒業生と同様在校生の心につつま

甲府一高校長
雨宮 惇

でも残って欲しいと願い、今年もぜひ成功させたいと思っております。今後とも卒業生の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。おわりに、本同窓会のますますの発展と会員の皆様のご活躍を祈念するとともに、本総会当番幹事の方々に感謝申し上げます。

今年、明治三十九年から四十二年間、多くの人材を世に送り出した県立甲府中学校が、学制改革により県立甲府第一高等学校となり、新しい校章・校章が制定されてから、ちょうど五十年目になります。三万六千人を超える卒業生によって培われ、脈々と受け継がれてきた百十七年の輝かしい歴史と伝統を励みに、自主自立の校風のもと、「日に新たに」の気持で努力してまいりたいと思っております。



画・須藤 襄 (昭和42年卒)

ご挨拶

甲府一高同窓会会長 太田 源一郎

とに長い歴史を誇る名門校であります。昨年度は山梨県に於ける高校改革の中で、総合学科高校と単位制高校が新設されました。本校も同窓会員の署名をもって単位制高校導入を運動しました。が、最終的に英語科があるとの理由で甲府西高に決まりました。力のなさを反省しております。また伝統の強行遠足も七十回を迎え盛会裡に終了し、記念す

向誓の御本校東京同窓会総会が盛会裡に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。母校は、明治十三年学制発布につづく中学校令により発足して百十七年を迎え、更に起源は徳川幕府時代の徳川館に発し、二百年余を迎えるという、まこ

東京同窓会
開催によせて



東京同窓会会長
渡辺 喜一

新しい世紀の到来を間近に控えて、世界はいま大きな転換期に立っており、日本もこれまで国家の発展を支えてきた日本のシステムの根本的変革を迫られております。世界はますますグローバル化し、日本独自のスタンダードでは、経済活動はもとより政治手法も社会規範も通用しにくくなってきました。

私は、世の中がグローバル化するほど、逆に個人や団体や地域社会は、それぞれ独自のアイデンティティを確かなものにしていかなくては存在価値が薄れていくと思っております。私も母校という共通の人格形成のルーツを持ち、同じ郷土の土と水で育ってきた仲間です。お互いの絆を強めることによって、この不透明な世の中に自己主張していききたいものです。その意味からも、同窓会が年を追って盛んとなり、今年も多く参加を得て、縦・横の交流が進みましたが、何より喜ばしく、幹事はじめ関係の方々のご努力に感謝申し上げます。

平成九年度 役員

- 会長 渡辺喜一 (昭18)
副会長 伴野 匡 (昭19)
秋山哲郎 (昭23)
内藤健二 (昭27)
石川真吾 (昭29)
小宮山 優 (昭20)
飯野 亨 (昭23)
河西静夫 (大15)
大森雅典 (昭16)
立川孝幸 (昭17)

Newton's Apple
Columbi Egg
広い視野、豊かな発想。
人がつくる。人の場所。
清水建設

TOBU
グッドデパートメント
東武百貨店
東武カルチュアスクール
(株)東武百貨店
取締役 飯田知雄 (昭和26年卒)
スパイス営業部長 野田 弘 (昭和39年卒)

ゆとりが自慢の温泉リゾート。
HOTEL 春日居
株式会社 千代田
代表取締役社長 大石和雄 (昭和26年卒)

富国生命保険相互会社
ご契約者の利益擁護
最優のサービスの提供
フコク生命
すてきな未来応援します

——今回は、強行遠足に参加した同窓生のみさんの思い出から、その素晴らしい座談会の形で再確認したいと思えます。まずは、一番年長の三枝さん。昭和五年度の一位になりましたね。

三枝 私たちは一位になることを目標としてまして、かなりそれに力を込めてました。強行遠足なんて言いますが、結局走りまわった。多くの生徒たちがそんな気持ちでいたでしょう。それで結構みんな興奮しました。前の日はあまり寝れないようなのですが、私も三時間睡眠でした。

三枝 睡眠不足で遅刻しそうになりまして、走って何と出発時間に間に合いました。そしてスタートしても、やっぱり走る。七人くらいで足並みそろえて走ったんですが、途中からやはり何人か脱落します。最後にはもう二人で走りまわりましたが、月夜がありがたかったですね。明るくて道が良く見えましたから、チャンスとばかりに走り続けました。あれで真つ暗だと大変だったでしょう。

田原 私の時は天気の良いことが多かったですね。千松橋の所で橋が落ちてしまったことがありましたし、二年の時は大雷雨で、途中まで歩いたところで中止になりました。

五年の時は、雨模様で夜が真っ暗。その中を一人で進んでいくことが多かったですから、その心細さはかなりのものでした。

——比較的若い世代のみさんはどうだったでしょう。

小田和 私の時代ですと、私たちが女性小海まで四十二kmでした。それでもくじけそうになっただけでした。精神的にとってもキツかったですね。

中込 私も苦しかったですよ。韮崎まで長いこと走りまして、早くから疲れてしまっています。上位到着を目指してはりきっている友達に引きずられて、なんとかやり終えたという感じでした。

——今福さんは27年卒ですが、今福 私は、ずっとトコトコの

マイペースを守っていたせいかもしれません。心地よくやりとげることができました。スタートから皆走り出すので、私もつられて走ってみたいんですが、ぜんぜん苦しくならない。もちろん、上位に入る人みたいにハイペースでは走りませんでしたが、途中から早歩きペースに落としましたが、ずっと気持ち良かったですよ。

——なかなかそういうケースはないんじゃないですか。

今福 そうでしょうね。私は小一の時からずっと生家の農業を手伝ってまして、登校前と下校後、休みの日は野良仕事をしてたんです。それで鍛えられていたことあるでしょうし、父親と母親から、強行遠足に適した

体ももたっていたのかもかもしれません。強行遠足があると、三日間は学校も野良仕事もなしで済みますから、かえって嬉しかったくらいでした。

——岩間さんは、歴代一位の到達距離を持っていらっしゃるわけですが、他のみなさん、成績はどうでしたか。三枝さんと岩間さんは一位を取りましたね。

三枝 四年の時ですね。でも、途中で前の年より成績が悪かったと言われてトップにいる責任を感じまして、かなり飛ばしました。気合を入れると、かなり頑張りました。記録を超えることはできませんでした。

岩間 私は第十回に優勝しました。途中で、自分の後ろに九百人以上がいると思うと愉快で

した。休むと足が痛くなるので、休まない主義でどんどん進み続けました。しかし私も、前の年の記録が破れなかったので残念でした。

田原 私は、何とか五年間で一度はトップに立ちたいと思っていました。私たちの時代には、そういう気持ちがありましたよ。今もそうじゃないのかな。

五年の時は、一時、トップ三人の背中が見えたこともあったんですよ。夢が実現しそうだったんですが、結局、時間はまだ十分あったのに豊科で止まりました。自分の力がまだわかっていなくて、不安があったもので。今考えると、そんなこと恐れずに自分の力を信じて進み続ければよかったと思います。

座談会



我が青春の 甲府中学・甲府一高 強行遠足

- 三枝 梓 (昭5「校友会誌」)
- 岩間 孝吉 (昭33卒業)
- 小田和直子 (昭54卒業)
- 中込 登世夫 (昭56年度・3年生)
- (強行遠足70回記念誌「歩け、心のかぎり」より再構成させていただきます)
- 田原 利雄 (昭11「校友会誌」)
- 今福 利重 (昭27卒業)
- 岩間 孝吉 (昭33卒業)
- 小田和直子 (昭54卒業)
- 中込 登世夫 (昭56年度・3年生)
- (強行遠足70回記念誌「歩け、心のかぎり」より再構成させていただきます)

——若い方々は？

小田和 私はとにかく、最後まで行くことが目標でした。途中でもう嫌になってしまつて、海の口から松原湖に行く途中の陸橋の陰で休んで、そのまま時間切れを待とうとしたんです。初めはすごい決意をして、絶対小海まで行くぞと思つてたんですが、

でも、そこで具合悪そうな風を装っていると、やはり罪悪感というか、とても虚しい気持ちになりました。声をかけてくれる友達にも悪いような気がして、もう一度歩きだして、何とか最後まで行くことができました。

中込 私の時は、男子は小諸まで55kmの道のりで、制限時間は二時間半。もちろん、完走しました。

——岩間さん、歴代一位の記録を達成した時はどうでしたか。

岩間 私は、高校一年の時は途中で中止、二年の時は腹痛で脱落してしまいました。それで三年の時にがんばつたわけですけど、

大体ざっと計算してみると、走ったり歩いたりを繰り返して、平均時速六〜十kmくらいで進んだでしょう。

松本から先は、先頭の人に先生が付添いでついてきてくれるということで、豊科あたりまでハイペースで飛ばしました。木崎駅に着いた時に、先生が「ここまでが最高距離だ」と教えてくれたんですが、もうその時は疲れ切っていて、まともに返事もできなかったくらいです。

その年は、制限時刻が四時まででしたが、その十五分前に築場の駅について、次の白馬までとても十五分では着けないというので、そこで終了にしました。到達距離は、百六十七kmくらいでした。

——もう強行遠足のシステムが変わつてますし、その記録は破られることはないわけですね。

田原 私の場合、天気が悪かったものから、その心細さが特に印象に残つてます。とぼとぼ歩いてると、無性に不気味な

総合商社

株式会社
センチュリー・トレーディング・カンパニー

代表取締役社長 依田陽一 (昭和19年卒)

〒160 東京都新宿区新宿5丁目17番11号
☎03-3208-5881

株式会社 佐野建築研究所

代表取締役 佐野暁一 (昭和34年卒)

甲府市中央4-1-17
(0552)33-3185

株式会社 菅谷

本社 山梨県甲府市小曲町1,029
甲府市食品団地内 電話0552-43-8800(代)

：総合食品卸
：手造りハセソーセイジ製造(八ヶ岳高原ハム工房)

清里営業所 山梨県北巨摩郡高根清里3,545
：手造り土産ショップ (のぞいてIN)電話0551-48-3747
：ログレストラン (清里スクエアガーデン)電話0551-48-3320

菅谷真理子(昭和45年卒)

テーマは、
“心豊かな環境創り”

株式会社 井尻工業株式会社

代表取締役 会長 井尻仁 (昭和33年卒)

代表取締役 社長 神宮司 昌平 (昭和26年卒)

取締役 副社長 井尻茂夫 (昭和39年卒)

山梨本社
山梨県甲府市古府中町5015
TEL.0552-53-7171

東京本社
東京都千代田区永田町2-10-2 TBRビル413
TEL.03-3501-9761

総合建設業

株式会社 長田組土木株式会社

代表取締役 会長 今井 巖

代表取締役 社長 長田 達機

本社/甲府市丸の内2-9-20
☎(0552)31-1111(代)

支社 長野 支店 東京
営業所 静岡、多摩 出張所 富士、鹿

公認会計士・税理士
司法書士・中小企業診断士

保坂正文事務所

所長 保坂正文 (昭和8年卒)

〒184 小金井市本町2-20-17 保坂ビル
☎(0423)83-1234(代)
FAX (0423)83-1237

●自宅
〒184 小金井市緑町4-7-3
☎(0423)81-5814

総合建設業

株式会社 井尻工業株式会社

代表取締役 会長 井尻仁 (昭和33年卒)

代表取締役 社長 神宮司 昌平 (昭和26年卒)

取締役 副社長 井尻茂夫 (昭和39年卒)

山梨本社
山梨県甲府市古府中町5015
TEL.0552-53-7171

東京本社
東京都千代田区永田町2-10-2 TBRビル413
TEL.03-3501-9761

INVITATION TO 一紅会

歩みはじめて
一紅会会長 渡辺圭子

昨年の東京同窓会には一紅会の協力により八十三名の女性会員の参加がありました。今年二月一日に規約も出来ました。発足してからの、その時々課題にできるかぎりひたむきに深く接しながらコツコツと歩きはじめて一年、少しでも前に進んでいることを実感し喜んでおります。

歩みの幅は一人一人がどう関わるかによって変わってきます。これからますます一紅会が体力をつけ成長し歩みの幅が広がることを願ってやみません。とにかく種が蒔かれ、若い双葉から芽のびてゆこうとしています。

会員皆さま方の太陽のような心と土のようなエネルギーの応援を心からお願ひ致します。

雰囲気を感じたり。あと、途中で自転車に乗った新聞社の人が来て、写真を撮ってもらったことが記憶に残っています。それでまた気が入って進めるようになります。

あとは、リヤカーを引っ張った人にしきりに「乗れ乗れ」と勧められたこと。でも乗った失格ですから、乗れない理由を話すと、「物凄いいことするですね」なんて言って、親切に町まで案内してくれました。

中込 私、休んでいた時に、見知らぬおばあちゃんに急に声をかけられました。話すと「世の中に出るときとつらいことがあるだろうけど、小諸に行く時の気力を忘れないでがんばってください」なんて話してくれて、涙が出そうになりました。

田原 とにかく、夜も寝ないで強行するのですから、寝ぼけて道端の溝に落ちたり、他の人だつて、泣きながら歩いている人がいたりして、過酷だったのは確かですね。

今福 私たちの学年は、中一から高三まで六回強行遠征があったんです。六回参加したのは、私たちの年代だけです。私はもちろん全部に参加して、友達から「お前の箱は馬箱か」なんて言われたことが、楽しく記憶に残っています。

あとはやはり、先生方の協力でしょうか。二十〜三十キロ平気でついてきてくれたりしたから。

饗場 私の時も、先生に助けられました。途中で一時、貧血になりそうな気分が襲われまして、先生から「帽子を取って頭を冷やすように」と言われ、その通りにするとすぐ回復しました。その先生はその後自分と一緒に歩いてくれましたが、健脚に驚かされました。足の強い人が多かったとつくづく思います。

岩間 一人で歩くのはつらいです。

すよね。黙々と歩いていくわけですから、ただでさえつらいのに一人で、孤独感と虚しさで荒涼とした気分になりますよ。その時に先生がずっとついてきてくれたのは、本当に嬉しかったです。

饗場 最後に着いた駅でも親切にしてもらいましたね。もう私は、電車に乗るのも一苦労という状態でしたから、そうした心遣いがとても嬉しかったんです。

――では最後に、甲府一高伝統のこの行事につきまして、その意味や意義など、お考えをお聞かせください。

三枝 強行遠征は、母校の一番の行事でしょうし、一番特徴的なものだと思います。私が学校にいた時から、そろそろ他の学校でも真似し始めたりしてまして、嬉しく思っていました。この行事をさらに磨いて、各自が自重し、より安全に、かつ向上心をもって続けていくことが大切でしょう。

何にせよ、足の力は偉大です。それを知る機会を与えてもらったことだけでも貴重でした。

今福 強行遠征には不思議な魅力があります。単に「体を鍛える」というだけでは計りきれません。やはり「歩く」という非常に基本的なことに対する、人類共通の喜びみたいなものが根本にあるように思います。

私が六回の強行遠征を通して獲得した力を文字にすれば「難鈍遅、持久通天」。私なりに意味づけると「鈍くても遅くても長期の目標・目的に対しては、その達成に必要なことを、三割の余裕をもって継続して行えば、それなりに納得の行く結果に到達する」。この力が、私にとって頼りがいのあるものになっています。

岩間 言葉による教育よりも、一つのかけがえのない体験が自己をつくると思うのですが、強行遠征の体験は、それを達成してくれるように思います。そういう場に自分を投げ込み、自己を見極めることの重要性を感じられる青年の感性、人間性は、とても尊いものだと感じています。

小田和 私には強行遠征の途中、言うならば「走れメロス」

みたいな心境になってしまいましたので、よけいにいろいろと考えることがありました。つまりは、回りの友達や先生方、愛し愛される人たちのつながりというものが一番大切なことで、それを青春の真只中で感じることでできたことが、私にとって嬉しかったことですね。

今にして思えば、最後まで頑張った時、その底に流れていたのは「愛」だとはか言えないと感じたのです。

中込 私は先程も言いましたように、見知らぬおばあちゃんから励まされてしまいました。だから、そこで強行遠征の意義みたいなものを、端的に教えられたような気がしますが、他の学校の生徒ではなかなか経験できない、この貴重な経験を糧にして、これからの人生も気力と気迫で乗り越えていく。そうした経験をさせてくれた母校と、協力してくださったいろんな方々に、あらためてお礼を言いたい気持ちでいっぱいなんです。

――ありがとうございます。

「一紅会」近況報告

平成九年度当番事務局 斉藤峰子

甲府一高女性ネットワーク「一紅会」は、「東京同窓会の活性化を」という要請のもとに多くの女性に東京同窓会に参加してほしいという事が発端のようでしたが、一般には、この会に対する不安論が噴出し、当番事務局としては悩みに悩んだ引き継ぎでした。

具体的には「日新編」第二号に、甲府一高女性ネットワーク誕生の御紹介、第三号には、この会が「一紅会」という名称で96年3月7日に発足したことが報告されております（なお昨年の東京同窓会幹事会では「一紅会」が承認されております）。

現在の「一紅会」は、昭和28年卒から昭和50年卒の各学年女性代表30名によって会合がもたれている状況です。

第3回「一紅会」幹事会は、96年9月25日（水）東京会館において、東京同窓会副会長・伴野匡氏、平成8年度当番幹事長・笠井莞爾氏、平成9年度当番幹事長・内藤勲氏ご出席のもと、16名の女性幹事が出席し、

①7月の同窓会の反省
②「一紅会」の位置づけについての話し合い
③会則についての意見交換が行われました。

会則および会の方向については「検討プロジェクト」をつくり、10月28日（月）に9名の代表によって検討を行いました。

第4回「一紅会」幹事会は、97年1月29日（水）東京会館において、東京同窓会副会長・伴野匡氏御出席のもと、20名の女性幹事が出席し、話し合いをもちました。内容は、

①東京同窓会の中間報告
②「一紅会」会則についての検討・決定（97年2月1日施行）
③副会長選出（29年卒の五十嵐節子氏を選出）
④東京同窓会幹事会に、各学年女性代表1名登録の確認（後日4月21日の幹事会に女性17名が参加）

4月21日（月）に開催された東京同窓会幹事会に「一紅会」として御紹介をうけ、東京同窓会会長渡辺喜一氏から「これからの女性の活躍に期待します」という温かいお言葉をいただきました。これでやっと体裁だけは整い、次学年にパトナタッチできると安堵いたしました。今後の活動につきましては、会員の皆様からの御意見をお聞きしながら発展させていくことになると思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

柳澤産婦人科医院

〒247 横浜市栄区上郷町970
電話 (045)892-3511

院長 柳澤和孝 (昭和31年卒)

LUCKY

代表取締役社長 望月政男 (昭和34年卒)

株式会社ラッキー商会

本社/〒400 甲府市湯田2-10-12 TEL.0552-37-7272代 FAX.0552-35-0952
東京オフィス/〒107 東京都港区赤坂7-2-17-403 TEL.03-3401-7708 FAX.03-3401-7734
大阪オフィス/〒550 大阪府大阪市西本町1-13-31 TEL.06-543-5521 FAX.06-543-5523

精密洗浄の極限を追求する
超音波洗浄装置メーカー

ソニック・フェロー株式会社

代表取締役 白井徹 (昭和18年卒)

神奈川県相模原市田名3039-15 TEL.0427-63-2300

若尾商事株式会社

〒241 横浜市旭区二俣川2-62
TEL 045-391-1121

わかお美容室 エトワール美容室
美容室メイクアップ

若尾和子 (昭和32年卒)

SANO RABU

◎建築工事 ◎設計・監理
◎土木工事 ◎リホーム工事

総合建設佐野株式会社

代表取締役 佐野親由

本社/甲府市下飯田1丁目4-11
TEL/0552-26-6868代 FAX/0552-26-6806

婦人実用書の出版社

レディブックス (月刊)
female (月刊)
歌謡曲 (月刊)
こどもブックス (隔月刊)

(株)ブティック社
東京都千代田区平河町1-8-3 ☎03-3234-3001 FAX03-3234-6406

代表取締役会長 志村司郎(昭和20年卒)
代表取締役社長 志村昌也(昭和35年卒)
副社長 内藤朗(昭和46年卒)

脳外科・麻酔科・脳ドック

藤沢脳神経外科病院

院長 数野隆人 (昭和31年卒)

神奈川県藤沢市片瀬2-15-36
TEL 0466(27)-1511 FAX 0466(28)-0882

サンリオピューロランド
ニューパレードをお楽しみに!!

東京多摩市京王線小田急線多摩センター駅徒歩5分
国立ICより約9km
お問い合わせ TEL.0423-39-1111
ご来場お待ちしております。OB一同

新装成った 一高新校舎ご紹介

▼中庭部分を見下ろす



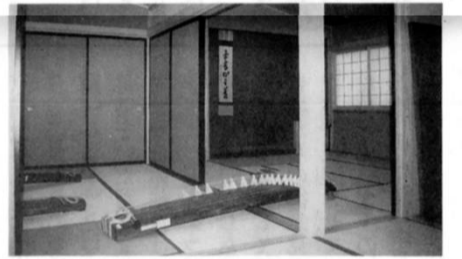
思い出の旧校舎が姿を変え、新校舎として新たなスタートを切ったのが平成五年のこと。新校舎完成からすでに四年ほどの歳月が過ぎました。まだ新校舎をご覧になっていない方々のために、今回カメラルポをお届けします。



◀昭和4年に完成した旧校舎は、六十以上の長きにわたり生徒たちを見つめ続けてきた。写真は、なつかしい旧校舎正面入口。



▲大学の講義室を思わせる設備



▲日本文化に親しむことも忘れない

TOKYO GAS ENERGY 快適なくらし、お手伝い。

LPガス・ユークス販売
LPガス関連設備設計施工
リフォーム事業

東京ガスエネルギー株式会社

相談役 **秋山 哲郎**
(昭和23年卒)

〒160 東京都新宿区西新宿3-7-1(新宿パークタワー25F)
TEL.03-5323-3000(代)

内科・小児科

望月内科クリニック

東京都板橋区相生町4-5桂ハイツ1階
TEL.3937-6769

望月 紘一 (昭和36年卒)

21世紀へ豊かさを深める
とうきゅうグループ

東急建設

東京都渋谷区渋谷三丁目11番11号
電話 03-5466-5331

千野 逸平 (昭和26年卒)

スペイン製 高級ムートン
高級皮革 毛皮 一般 卸及小売

ミンクマジック

東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル地下1階
郵便番号141 電話 3494-2786
東京卸売センター内 郵便局私書箱387号

岩本 福喜 (昭和31年卒)

三井物産の情報通信戦略会社
企業の経営戦略に沿ったネットワーク構築
(欧米の一流メーカーのコンピュータ、通信システムの輸入元)

アダムネット株式会社

〒113 東京都文京区湯島2-31-27 湯島台ビル
電話 03-5802-2202 (人事代表)

取締役副社長 **石井 澄夫** (昭和31年卒)

MARUJU

株式会社 **丸十特殊土木**

代表取締役 **小泉 純一**

本社 千葉県八千代市八千代台東1-40-7
TEL.0474-85-3451代 FAX.0474-85-3183

人と自然の未来を見つめて

大林道路株式会社

顧問 **遠藤 長次郎** (昭和27年卒)

〒107 東京都港区南青山1-24-1
TEL.03-3796-6500(代表)

プラスチックとエレクトロニクス

山下電気株式会社

代表取締役専務 **深沢 勇**
(昭和26年卒)

常務取締役 **津金 敏夫**
(昭和31年卒)

プラスチック合理化機器の製造・販売
環境対策機器の製造・販売

合理化を考える
日水化工株式会社

TEL.048(253)0646
〒332 埼玉県川口市西川口4-11-4

代表取締役 **中込 松爾**
(昭和29年卒)

総合建設業
特定建設業 山梨県知事許可【特-8】第6153号

眞 三井興業株式会社

三井興業㈱一級建築士事務所
代表取締役社長 三井 等

本社 甲府市丸の内三丁目21-10
TEL (0552) 22-5134代
FAX (0552) 26-8143番

土木・建築基礎工事用各種調整剤の製造・販売

汚濁水・廃泥水・汚泥・浚渫土・ヘドロ
建設発生土等の処理剤・土質改良材の製造・販売

(株)テルナイト

代表取締役社長 **河内 三郎** (昭和27年卒)

〒151 東京都渋谷区幡ヶ谷1-7-5
電話 03-3377-9321 FAX 03-3320-8961

神経科・内科・精神科

有泉医院

院長 **有泉 仁志** (昭和37年卒)

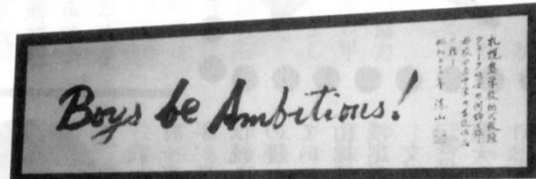
甲府市相生2-8-6
(商工会議所の南20m入る)

☎0552-33-2323(代)

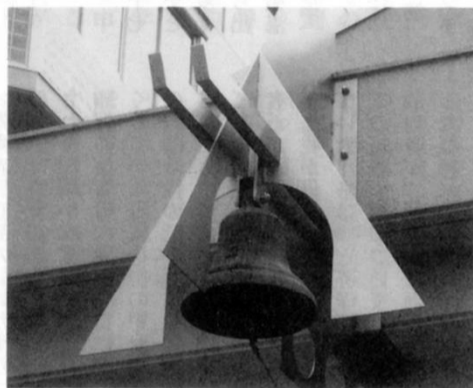
甲府



平成四年八月に竣工し、翌年十一月に完成した新校舎。平成六年五月には「日新館」(文化創造館)も完成しました。ご覧のとおり、外観は大変近代的でシャープなものとなっており、勉学・文化活動のための様々な設備が整えられています。しかしもちろんその精神は、旧校舎の時のまま息づいています。一高の様々なシンボルは、一高精神の象徴として、今も在校生たちの心の拠り所となっているのです。



▲クラーク博士の愛弟子、大島正健第七代校長より伝えられた一高の精神「Boys be Ambitious!」。書は大島校長に教えを受けた内閣総理大臣石橋湛山氏(明治35年卒業)による。



▲一高の校是の象徴「日新鐘」。現在は中庭アトリウムに設置されている。

旧校舎の思い出

日新鐘
備仲臣道(昭和34年卒)

旧校舎の屋上に上がったことのある人は少ないはずであ

る。それは私たち応援団と屋上に小屋のある天文部の者たち以外には許されていなかった。三階の廊下の一番西の端に屋上への狭い階段があつて、ふだんは錠が下りている。その鍵は事務所に保管されてお

り、私たちは生徒手帳と交換にそれを借りて上がったのである。自身でも信じられないことであるが、私たちは屋上の縁にある高さ四、五十センチばかりのコンクリートの柵の上

に立って発声練習をした。いままなら下を見ただけで目を回してしまふだろうが、私などはその柵の上を朴園の高下駄で走って自慢にしたものであ

った。お袋にからかわれたりした。屋上の平面は北に向かつて凸形をしており、出っ張りの部分は三階までの階段の上

に当たる。その東北の隅、四本柱の上にとがった屋根のさやがあつて、ここに日新鐘が入

っている。ご存知のように授業の初めと終わりには、小使

い室(当時はそう言った)から出てきたおじさんが下からロープを引っ張ってからんからんと鳴らすのである。鐘のまん中にこぶし大の玉があつてロープはこれにつながつて



画・若尾真一郎(昭和37年卒)

いまのように車が多くなつたから町は静かで、私たちの発声練習の音が甲府駅まで聞こえたというのが、まんざら嘘の話ではない。「い」という音は出しにくいので不自然な口の形で発声するから「フレイフレー一高」と言っているのがエテコーエテコーと聞こえた。歩いて十分とかからぬ家に帰ると、またエテコーやってたじゃないかと、

ある試験の行われた日である。人より早くあきらめて屋上に出た私は、まだ試験中の同級生に時間をプレゼントしようという崇高な気持ちになり、鐘の玉を一方の柱にしばつたのである。これで鐘は完全に鳴らない。

だが、私はそのまま家に帰ってしまったから、諸君が良い点を取ったかどうかをいまでもって知らない。

堀田医院
院長 堀田 焯
(昭和34年卒)
大月市大月1-5-20
☎(0554)22-0113(代)

企業物流のエキスパート
日立物流
〒135 東京都江東区東陽7-2-18
TEL: 03-5634-0333
FAX: 03-5634-0299
有泉 英雄(昭和23年卒)

コンピュータシステム企画・開発
株式会社 コスモエナジー
代表取締役 軽石 泰孝(50年卒)
〒171 東京都豊島区池袋2-41-1 北村ビル3F
TEL 03-3986-0048 FAX 03-3986-5794
E-mail: karuishi@cosmoenergy.co.jp

工業用ガス・医療用ガス
各種の製造・販売
東京マイビス株式会社
代表取締役社長 蓮沼敏子
(昭和34年卒)
本社 〒150 東京都渋谷区渋谷1-14-8 宮益SKビル9F
TEL.03-3409-7541(代)

東京會館 友の会入会のご案内

東京會館に対する一層のご理解を深めていただくことを目的とし、毎月開催いたします多彩な企画をご本人またはご家族で参加し、お楽しみいただく組織です。また入会されると数多くの特典がご利用いただけます。

[主な特典]

- ご婚礼 * お料理、お飲物の5%割引 * ウェディングケーキの寄贈 * ご結婚1周年にペアの食事券プレゼント (ほか)
- レストラン・バーをご利用の際はサービス料が無料
- ディナーショー等のイベント料金の割引
- 売店、ルモンド、ギャラリーでのショッピング料金10%割引
- ご宴会の室料50%割引
- クッキングスクール入学金50%割引

※いつからでもご入会いただけます。
事務手数料(1年 ¥1,000)
※東京會館各店でご利用いただけるクレジット機能がついたカードです。

詳しい資料・お問合せは
☎(03)3215-2111(代)内5731 FAX(03)3215-5606
友の会事務局

取締役総務部長 笠井莞爾(昭和33年卒) **東京會館** 〒100 千代田区丸の内3-2-1

世界に向けてネットワークビジネスを展開する
(株)ワールドヘルシー
〒400 山梨県甲府市中央2丁目13-18 ワールドビル
TEL 0552(37)8141・32-0611・FAX 0552-32-0402
代表取締役社長 志田保彦(昭和30年卒)

あかりができること...おだやかな空間
エールシヤンデリア株式会社
〒400 山梨県甲府市中央2丁目13-18 ワールドビル内3F
TEL 0552-22-1871(代)・FAX 0552-22-1922
代表取締役会長 志田保彦(昭和30年卒)

商品は空気です。
熱と空気のエンジニア
株式会社 **大気社**
空調設備・塗装プラント・設計施工
本社/東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル
TEL 03(3344)1851
顧問 牧野永俊(23年卒)
常務取締役 奈須野明(28年卒)
中部支店長

(有)功刀新聞店
毎日新聞
日本経済新聞
東京新聞(三鷹北口店)
代表取締役 功刀 功(昭和34年卒)
●武蔵小金井北口店 〒184 小金井市緑町4-2-5
TEL 0423(81)9610
●三鷹北口店 〒181 三鷹市上連雀1-8-20
TEL 0422(51)7755
●田無北口店 〒188 田無市本町6-15-14
TEL 0424(61)2209



甲中時代は楽しかった 高沢寅男（昭和19年卒）

昭和十六年十二月八日早朝、勇ましい軍艦マーチの演奏とともに、ラジオは大本営発表を流した。「帝国陸海軍は本日未明、西太平洋において米英軍と戦闘状態に入れり」。私が甲中三年生の時である。

戦争の影響が具体的に学生生活に出てきたのは、勤労奉仕であった。勤労奉仕といえは、我々より後学年の諸君は京浜工業地帯の軍需工場に動員され、敵機空襲による生命の危険にさらされたのであった。

それに比べたら、誠に申し訳ないことだが、我々の勤労奉仕にはまだしも楽しみがあった。甲府近郊の、昭和村などの農家の援農に行き、麦刈りや稲刈りを手傳うのはちよつとした遠足の気分があった。田んぼのあぜ道に腰かけて友達とだべったり、流行歌を歌ったりもできた。その頃はやった歌は、「湖畔の宿」「純情二重奏」「誰か故郷を思わざる」などであった。



あのこの人

我々の母校、甲府中学校・甲府一高は創立して今年で百十七年、日本でも有数の長い歴史と伝統を持った学校である。多くの優れた先輩がこの学舎から出ている。政治の分野では石橋湛山総理大臣、経済界では小林中、浅尾新甫、水上達三など。文学では、中村星湖を筆頭に、「雲母」を主宰した飯田蛇笏、龍太親子、木々高太郎のペンネームで昭和十一年下半年の直木賞を受賞した林麟。彼は大脳生理学の権威で慶應医学部の先生であった。菊島隆三は戦後映画界の優れた脚本家で、「野良犬」「用心棒」「気遣い部落」等は彼の作品である。等々多士済済である。

「六浦会々員」来年は古稀 井上健造（昭和20年B卒）

我々は日支変遷真盛りの昭和十六年四月に甲中に入學し、その年の十二月八日には太平洋戦争突入という全く戦争真只中の中学生生活を送った年次である。六浦会というクラス会の名称も、戦時学徒動員法によって十九年四月の四年進級と同時に横須賀追浜にあった海軍航空技術廠に動員され、終戦の二十年八月の直前まで汗と油まみれになつて航空機並びにその関連兵器の生産に従事した。その時の宿舎となつた木造二階建の、所謂タコ部屋同然の建物があつた。横濱市金沢区六浦町であり、同じ釜の飯を食つて働いた苦勞を忘れずに年に一度クラス会をやるうと結成され命名されたものである。

我々仲間はずれで六浦なるもの生活は全然知らぬ会員も若干いるのだが、入学年次が一緒の者が全員参加している。入学時は三百名（五十人クラスが六組）だったのが、現在はすでに物故者も五十数名をかざる様になり、東京同窓会に名を連ねている会員は百名程度である。我々年次は戦争中苦勞を共にした思いからか割合団結もあり、まとまりのある会であると思ふ。来年はお互に古稀を迎える。何時までも元気で、これからも長く続く会であることを祈るものである。

文学を通して先輩を見る 飯田知雄（昭和26年卒）



先ず志賀直哉の「いたづら」。昭和二十九年の「世界」に掲載された短編小説で、この題材は、駒沢の校新町の隣組で特に親しくしていた野尻抱影の甲府中学校の教師時代の話を元にして創作されたものである。野尻抱影はご存知の通り、神奈川県出身者だが、明治四十年から四十五年迄我が母校の英語の先生をしてきた。ちよつと芥子の利いたこの短編小説については志賀直哉自身が、苦勞して何度も推敲した経緯について「続々創作余談」に記している。

次に井伏鱒二であるが、彼は広島県福山市の出身だが、釣りが好きで山梨の人と風土を愛していた。彼は昭和十八年に甲府村へ疎開し、彼の長男も甲府中学校に転校した。そこで一年生のいたづら坊主が一寸した事で危うく一命を失うことになる様な事件を起こし、長男からその椿事の内容を聞いて自伝的随筆

「疎開記一下駄箱」に結実させたのである。最後に、大島正健第七代校長は明治三十四年から大正三年まで十三年に亘つて校長職にあつた。野尻抱影は彼の息子大島正満と神奈川県立第一中学校の時の同級生であり親友であつた。そうした関係から大島校長が野尻抱影を甲府中学の英語教師に推薦したのである。大島正健はかの有名な札幌農学校の一期生で、同期生には伊藤一隆が、又二期生には内村鑑三、新渡戸稲造など優秀な生徒が多かつた。彼等はいずれも後に敬虔なキリスト教徒となり、伊藤一隆の妹は大島正健の夫人となつた。



の中学時代を戦争であおりたてられ、大事な勉強を一番しなかつた世代ではなかつたかと思ふ。その様な次第で六浦なるもの生活を全然知らぬ会員も若干いるのだが、入学年次が一緒の者が全員参加している。入学時は三百名（五十人クラスが六組）だったのが、現在はすでに物故者も五十数名をかざる様になり、東京同窓会に名を連ねている会員は百名程度である。我々年次は戦争中苦勞を共にした思いからか割合団結もあり、まとまりのある会であると思ふ。来年はお互に古稀を迎える。何時までも元気で、これからも長く続く会であることを祈るものである。

貨物輸送全般

山梨総合運輸(株)

本社
山梨県中巨摩郡竜王町富竹新田
TEL 0552-76-5672

ターミナル営業所
TEL 0552-74-5773

小淵沢営業所
TEL 0551-36-5286

朝日監査法人

本部所在地
〒162 新宿区津久戸町1番2号 朝日センタービル
TEL.03-3266-7500(大代表) 直通03-3266-7510

代表社員
公認会計士 **小佐野 浩**
(昭和38年卒)

国内事務所所在地 都市一34都市

すし処

こつるぎ

〒104 中央区銀座3-9-18 tel.03-3542-6754
定休日:毎週 日・月曜日

大柴晏清
(昭和34年卒)

露天風呂

柳屋

山梨県甲府市湯村3丁目16-2
〒400 ☎ 0552-53-2416 代
テレックス3882-214

時代の流れをトータルに捉える

—海外総合ニュース通信社—

国際化がますます進むコミュニケーションの分野で、欧米を中心とする80数カ国、1000を超えるニュースエージェンシー・フォトグラファー・アーティストなどの最新情報をあらゆるメディアに提供

○テレビ○新聞○出版○広告○印刷
○デザイン○美術展○写真展○企業

日本写真エージェンシー協会会員
日本電子出版協会会員

株式会社 ユニフォトプレス

代表取締役社長 **太田 東洋男**
(昭和36年卒)

〒102 東京都千代田区飯田橋4-7-6 カクエイビル5F
TEL. 03-3264-3761 FAX. 03-3239-7002

●工業デザイン ●ビジュアルデザイン
●スペースデザイン ●マーケティング

企画・制作

OKI 株式会社 オキアルファクリエイティブ

〒108 東京都港区芝浦4-12-31
電話(03)5476-5252 FAX(03)5476-5260

取締役営業部長 久保田淳一 (昭和34年卒)

人がいきいきとする環境を創造する

TAISEI

For a Lively World

〒163-06 東京都新宿区西新宿1-25-1 TEL(03)3348-1111

国内随一の実績を誇る金属製プールを中心とするウォーターパーク関連設備の企画・設計・製造・販売

株式会社 OTTO

代表取締役社長 **阪本和也**
(昭和36年卒)

本社:
〒104 東京都中央区築地4-1-17 銀座大野ビル
TEL.03-3545-3661(代) FAX.03-3545-5559
プール事業部:(住所は本社に同じ)
TEL.03-3545-4000 FAX.03-3545-3001

横浜工場:
〒245 横浜市戸塚区上矢部町2212-8
TEL.045-811-1000(代) FAX.045-812-1908

営業所:
札幌・名古屋・大阪・高松・福岡

我が少年時代のスーパーヒーロー

我が少年時代のスーパーヒーロー

先日担当の編集者から山川惣治「少年王者」と小松崎茂「大平原伝」の復刻版をいただいた。

終戦の翌年小学生になった私にとって

少年王者 真吾とジム少年は火焼け跡にゆらめくイリュージョンのような気がする。



月刊・実話時代「蒼眸のパラード」より現在連載中!

以前山先生宅へ伺い次田方・真吾次女すい子さんを紹介され思はず!!!

入倉宗哉 (ひろし) (昭和34年卒)

突然私の目の中に飛び込んで



あの頃の小さな旅でした。

昨年十二月、私は二年三ヶ月ほど勤めた警視総監の職を辞した。



警視総監を辞して

井上幸彦 (昭和31年卒)

平成七年三月二十日の、あの天人共に許すべからざる「地下鉄サリン事件」の発生は、全國民を恐怖のどん底に突き落としたと云っても過言ではない。

大いに感激すると共に、都民・国民の警視庁に寄せる期待と信頼の大きさを改めて強く感じたところである。

寄稿のページ

同窓生

同窓生のみなさんからいただきました寄稿をもとに、ご活躍の様子を、ここでご紹介いたします。(紙面の都合上、誠に心苦しい次第ですが、一部省略させていただきました。ご了承下さい。〈編集部〉)

私が総監時代意識して心掛けたことがある。

それは、警視庁の行動は、全て私の責任で為されたものであり、状況から決して逃げないこと、何が起ころうと決してうろたえず泰然として物事に対処すること、昨日の反省と検証の上に立ちつづも今日という日を「日々新たな日」の清新な気持で、新しい目、感覚で臨むこと、等であった。



故郷との縁が深まって思うこと

大石和雄 (旧姓山本 昭和26年卒)

昨年、事業で結ばれた甲府一高の後輩の誘いで、初めて東京同窓会に参加しました。

来たものは、目映いばかりに美しくなった一高でした。

三十四年ぶりの母校

古今亭寿輔 (昭和38年卒)



昨年の秋、私は母校甲府一高を三十四年ぶりに訪れました。

帰りの車中、小柳枝さんが「甲府はブドウ酒でしょう、いい店ありませんかねえ、それでは途中でサド屋へご案内しました。サド屋もすっかり佇まいを変え、まさにワインの館でした。」

K・O・T・O・B・U・K・I

株式会社コトブキ

公共施設/家具事業・装置家具事業、都市景観事業、複合プラスチック事業、公共空間アート事業、家具テキスタイルデザイン開発事業、ならびにこれらの輸出入

〒105 東京都港区浜松町1-22-5 住友生命浜松町ビル3F
TEL.03-3438-9908 FAX.03-5401-5088

販売事業部 プロジェクト推進室 室長 小宮山敏夫 (昭和31年卒)

Recycling & Refreshment

地球の緑と快適生活を再生します。

- ▲ペーパー・リサイクリング
- ▲オフィス古紙・機密書類処理・一般古紙処理



株式会社 山室 厚木店
〒243-04 神奈川県海老名市東柏ヶ谷1-28-18
TEL: 0462(31)2932(代表)
FAX: 0462(31)2934



産業廃棄物処理業
各種リサイクル

有限会社 シゲン

代表取締役 加藤 泰弘

〒228 神奈川県座間市立野台3丁目18番12号
TEL (0462) 57-6010
FAX (0462) 57-6011

エアサテック株式会社
エアサ商事株式会社
株式会社 ニコテック
代理店

扱い品目
●環境機器
工業用集塵機
天然オレンジ皮油商品
汚れ落とし、消臭剤
●一般工作機械、板金機械

サン企画

〒158 東京都世田谷区玉川田園調布1-15-12
(K.K.ニコテック内)
tel.03-3722-4774 fax.03-3722-1446

代表 三枝 博 (昭和34年卒)

ふるさとの豊かな未来を創ります。



ふれあいさわやか

山梨中央銀行

安心とやすらぎをお届けする

来世の住まいのクリエイター

寺院墓地サービス株式会社

会長・不動産コンサルタント
(東南アジア大好き人間)

風間 武人
(昭和34年卒)

本社 東京都豊島区巣鴨3-33-9
TEL.03-3949-2071
FAX.03-3949-2037
ダイヤル 0120-5940-76
こくよう ナム

東京・浅草の墓地、230万円で分譲中
(永代使用料・墓石代・消費税など全て含む)

創業明治42年
心とひとときを
お過ごしください。



SINCE 1909

奈良ホテル

奈良公園内
☎(0742)26-3300

株式会社 奈良ホテル

代表取締役社長
五味 一彦
(昭和33年卒)

朝日監査法人

本部所在地
〒162 新宿区津久戸町1番2号 朝日センタービル
TEL.03-3266-7500(大代表) 直通03-3266-7510

代表社員
公認会計士 米山 昭一郎
(昭和23年卒)

国内事務所所在都市一34都市

